

令和7年度 第3回武川地域委員会会議録

- 1 開催日時 令和7年11月27日(木)
午後7時00分 開会 ～ 午後8時10分 閉会
- 2 開催場所 北杜市武川総合支所1階 小会議室
- 3 出席委員 秋山 広志・水石 清次・古屋 貞則・福井 俊克・末木 基治
・鈴木 洋明・宮澤 和子・山田 佳男・日向 勝・長坂 正
・冢刀 美津子・小澤 建二・溝口 暁美・粟澤 雅子
14名
- 4 欠席委員 ・小野 勝彦・溝口 直樹 2名
- 5 出席職員 武川総合支所長 小林 晋
地域市民課 市民担当 小澤 志貴子
- 6 議 題 (1)令和8年度武川地域委員会予算使途提案事業(案)について
(2)次期委員構成について
(3)令和7年度武川地域委員会研修について
(4)その他
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴人数 1人
- 9 署 名

署名委員 鈴木 洋明

署名委員 宮澤 和子

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名について

「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」第9条第3項第3号の規定に基づき、出席委員の内2名の署名を得る必要があるため、会長が鈴木洋明委員、宮澤和子委員を指名。

4 議 事（北杜市地域委員会設置条例第8条第2項の規定に基づき、会長が議長となる。）

(議 長) 第1号議案「令和8年度武川地域委員会予算使途提案事業(案)について」事務局に説明を求める。

(事務局) 資料に基づき事業内容、予算額等を説明。
予算額は算定見直しがあり、合計で2万8千円減額。事業は、本年度実施団体に確認し、予算に意向を反映。

(議 長) 質疑があるか。

(委 員) 新規事業「地域防災推進事業」について、実施主体が地域委員会になっているが、他の団体を検討しなかったのか、案の段階だから地域委員会、将来的な展望はどういう考えか。

(事務局) 会長・副会長と事前に話し合ったときは、地域の母体となる団体が明確でなかったため、まず、地域委員4、5名を中心に事業を立ち上げ、将来、任意団体に託していく方向で考えていくことを想定し、令和8年度は、実施主体を地域委員会としている。

(議 長) 北杜市で減災リーダーの研修を実施しており、多くの方が受講している。特に牧原地区では、研修を受けた方を中心に地域防災の会がある。実際、数年前の大雨の際、指定避難所である武川小学校体育館に多くの方が避難し一夜を過ごしたことがあった。その時に牧原の減災リーダーの方たちも市の職員とともに避難所運営に携わったことがあった。このことから、まず、この方たちと地域委員と一緒に地域の防災減災について考え、具体的な事業実施ができればよいと考える。講演をしてもよいし、地域の実情を共有することもよい。避難所の運営については、特にトイレの問題などが課題となってくる。地域のかかえる課題はたくさんある。この事業はその中の1つ。今まで研修も防災関係が一番多く、この成果を生かしていけたらという考えから出てきたもの。

何か意見はあるか。

(委 員) 「みあげて星見里」は委員が中心でやっている。この新規事業も同じよう

に委員の中で中心的に実施する役割分担をして運営していくのか。外部団体に任せるとか。

(議 長) 任せられる団体がすぐに出てこないのか、まず、地域委員で組織的なものを作り、事業を始めていくことがよいかと考える。

(委 員) 新規の事業なので、まず、地域委員でスタートさせ、積み上げ、その過程で内容などが決まってくると思う。スタートとして関わることは賛成する。

(委 員) 新規事業は、防災関係なので、消防の団体の委員を中心に実施したらどうか。地域委員を中心に地域の防災リーダーで活躍している方々を巻き込んでスタートしたらどうか。

(議 長) この防災関係の新規事業を行うことで、例えば、避難について考えたとき独居老人の問題、行政区に属さない方の問題が出てくる。

業務計画策定検討委員会でも行政区に加入しない方が多く、大きな課題になっているという話があった。特に災害時にどこにどういう状況の方が住んでいるかわからない。人命にかかわる問題につながっていくので、地域の防災を考えることは、他の地域の課題解決の糸口になるのではないかと考える。

いっぺんに多くの課題に取り組むのではなく、着実に積み上げていながら、地域課題を解決していくという内容。

(委 員) 市長の公約の中にも、防災減災の項目がある。この事業でよいと思う。

(議 長) 他に意見があるか。

(委 員) 「みあげて星見里」について、積算内訳を確認したい。

(事務局) 積算内訳について説明。

(委 員) 了解した。

(議 長) 他に質問がないようなので、第1号議案について原案どおり承認してよろしいか。

(委 員) 全員了承。

(議 長) 第2号議案「次期委員構成について」

事務局より説明を求める。

(事務局) 資料により説明。16人を上限に地域に適した委員構成とする。団体、学識、公募のバランスを考慮し決定。

(議 長) 構成について何か意見があるか。

連絡協議会の中でも質問があったが、委員は、団体、学識、公募から構成すること。資料はあくまでも例であり、地域にあった委員構成をとということ。人は財産、地域の連携に必要な方、年齢層など様々な意見が出た。過去には、公募の方が入っていたこともある。

委員の刷新という事も考えにくい、1名公募するとなると、団体、学識から1名減となる。

(委 員) 学識から1名減としたらどうか。長年務めたので退任したい。

(議 長) 意見、感想として承るが、再考していただきたい。ほかに意見はあるか。各団体は、経過、必要があって委員に入っていると思う。

その中であえて安協についていえば、現役勤務の方が特に多い。地域委員の役が負担になっているかもしれない。過去には、PTAの役員にも委員になっていただいたこともあるが、欠席がちで大変だったのであまり無理をしいることもできないので委員から外させていただいた経緯もある。提案として、団体を1減にし、公募を1増の案はどうか。

他に意見はあるか。

(委 員) 今の団体ありきでなく、地域委員会として、どの団体に委員として参加してもらうのが1つの大きな課題。地域委員会として、定義、方向性を見出して参加していただきたいという事を検討した方がよいのではないか。例えば、事業をやっている団体を入れるのか、現状でいくのかなど。また、公募が5人いたから、その分団体や学識を減らすというのも極端な話。公募が多くても、1人しかとらないのか。その辺の調整が必要ではないか。

(議 長) 公募は1人でよいと思う。公募は一斉に手続きを行う。

(委 員) ある程度、公募の数を決めておかないと問題になる。

(議 長) 委員があまり変わっても事業継続の面で困ると思う。一方で新たな考えを取り入れることも必要。

団体がどのような経過で委員になっているか、検証する必要もあると思うが、同じ団体で今まで続いて来たわけではない。その時々で変遷してきている。

(委 員) 20人だった時もある。委員構成は、会長と支所長で決めてほしい。

(委 員) 地域の課題を考えるうえで各団体は、それぞれにいろいろな年齢層や活動で地域につながりがある。だからこそ委員として必要で、地域の課題も広い視点で話し合えると思う。

(委 員) 豊かな経験、長年の知見を持った委員も必要。

(議 長) ここでは決められない。

(委 員) 団体の方は、何か課題、問題はないか。

(委 員) スポーツ協会も必要だから選ばれているということか。

(議 長) その通り。地域活性化のために必要。

(委 員) いろいろな団体が入った方がよい。公募も1人でよいと思う。

(委 員) 団体は役員の交代で人が変わる。地域委員のことがわからずに交代してしまうことがよいのか。自身は活動がわからなかったもので、次の方には引継ぎを行うようにしたい。

(議 長) 団体は団体の規約に従い、委員の引継ぎを行っていただきたい。構成は、会長、副会長、事務局に一任させてもらってよいか。

(委 員) 全員了承。

(意見・質問がないので第2号議案の審議は終了。)

- (議 長) 第3号議案「令和7年度研修について」
事務局より説明を求める。
- (事務局) 今回、見直しなどの話の中でほかの地域委員会との交流などの提案もあり、
県内の自治体の様子を確認したが、類似団体はすでに廃止になっている。
委員の皆さんから研修先の提案をいただきたい。
- (議 長) 1つは白州地域委員会と交流を図ったらどうか。
または、武川の区長と地域委員会とで地域の課題について意見交換はどう
かと考える。
- (委 員) 区長との意見交換は、地域の課題、実情を拾うのに有効。
- (議 長) 事務局と相談し、会長一任とさせていただいてもよいか。
- (委 員) 全員了承。
(意見・質問がないので、第3号議案の審議終了。)
- (議 長) 第4号議案「その他」
事務局から何かあるか。
- (事務局) 会議終了後に地域委員会だよりの編集を行うので、担当委員は残っていた
いただきたい。
- (議 長) ほかにあるか
- (委 員) 先日の「みあげて星見里」は委員、関係者の協力により、盛況に行われた
こと、感謝する。第18回も続けられ、120人を超える参加者となり、
次につながる流れができたと思う。今後もいろいろな企画を取り入れなが
ら、活動したいと思う。
- (議 長) 甲斐駒センターせせらぎの駐車場増設についての要望書の回答について報
告する。
(回答文を読み上げる)
すぐには、対応できないが、利用状況を見ながら検討していくということ。
- (委 員) 以前に要望したときと同じ回答、思いが伝わっていない。残念な回答。こ
の機会を逃したら駐車場はできない。避難所の問題もある。イベント時
もしかり。実態がわかっていない。
- (委 員) 再度要望すべき。データや写真で必要性、状況を示さないため。
- (議 長) また、来期もデータをつけて継続で要望していく。
- (委 員) 全員了承。
- (議 長) 他に意見がなければ、議事を終了する。議事進行に協力いただき感謝する。
(意見・質問がないので、第4号議案の審議終了。)

5 閉会のことば (副会長)

午後8時10分終了

令和 年 月 日

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印